

にじいろ

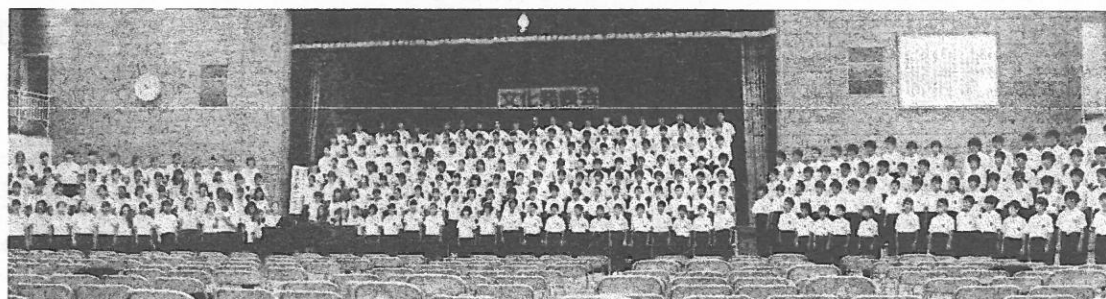
2019年9月17日(火) No. 12



文化発表会を終えて

先週の木曜日と金曜日、2日間にわたって、西中学校の第69回文化発表会が行われました。

一日目の学年ごとの合唱大会では、どのクラスも、2学期に入って毎日練習に取り組んできた成果を発揮し、気持ちが一つになった合唱を披露することができましたね。学年合唱では、緊張感も解け、全員が伸びやかに大きな声で歌えていたので、迫力のある素晴らしい合唱になりました。



<1年生合唱大会結果>

金賞：3組 銀賞：4組 銅賞：5、7組



二日目は、吹奏楽部の演奏と各学年の金賞・銀賞クラスの発表、1年生から2年生までの学年合唱の交流が行われました。

吹奏楽部の演奏は、曲数も多い中、全員で一生懸命に練習してきたことがよくわかる、まとまりのある演奏を聴かせてくれました。

各学年の金賞・銀賞クラスの発表では、1年生は3組と4組が舞台に立ち、一日目と同様、素晴らしい合唱を披露してくれました。また、学年合唱も、一日目よりも少し緊張している様子でしたが、71期生らしい元気な歌声を披露することができました。



3組：自由曲「飛び出そう未来へ」

3組らしい明るい元気な歌声を体育館に響かせてくれました。



4組：自由曲「unlimited」

最後にかけての曲の盛り上がりを上手に表現していました。

2年生、3年生のクラス合唱も、クラスによって異なる曲想を上手に表現していて、さらに、学年合唱は声量・ハーモニーともに圧巻でした。先輩が上級生としての役割を果たし、下級生に手本となる姿を見せることで、先輩から後輩へと、文化発表会の文化と伝統が引き継がれていくんだろうなと思いました。みなさんも、今回の文化発表会で得た感動を、また、次の学年へと引き継げるように、来年も学年全体でさらによいものを創っていきましょう！

舞台発表が終わってからの展示見学では、みんなが教科や部活動などで取り組んだ作品を見て、友達や先輩の違う一面を知ることができたのではないのでしょうか。

文化発表会は終わりましたが、クラス・学年ともに、行事を通して成長した力を日常生活にもいかしていきましょう！

<みんなの感想より>

*クラス発表・学年発表

- 練習を重ねていくにつれて、団結力や協力性が芽生えてきて、「金賞をとる」という目標が現実味のある目標となっていきました。そして、本番、一人ひとりが自分の全力を出し切って歌いました。金賞と発表されたときは、喜びが爆発しそうでした。でも、これだけ喜べたのは、私たちが頑張って練習し、努力し、みんなが一つになったからだと思います。



- 自分たちの番が近づくにつれ、緊張がどんどん増していって、手が少し震えて冷たくなった。ピアノを失敗したらどうしよう・・・不安がたくさんあった。まずは課題曲を歌ったけど、緊張とプレッシャーのあまり、足が震えて、声が

少し小さくなった。そして自由曲。ピアノに手を置いて、指揮者と目を合わせ、前奏。手が震えていたけどなんとかクリアし、みんなの声が入ってきて少し安心。途中少し間違えたけど、大きなミスなく終われてすごくホッとした。みんなも大きな声できれいに歌えていてよかった。金賞はとれなかったけど、2年生になったら金賞をとれるように頑張りたいと思う。

- 女子は声あまり出ていなくてどうなるんだろうと思っていたけど、一人ひとりが声を出して、本番には最初よりも倍ぐらい大きな声が出ていました。クラス発表は、とても緊張したけど、練習通りできたと思いました。強弱もはっきりついていて、きれいな合唱だと思いました。金賞を取れなくて悔しかったけど、本番に練習以上の合唱ができたので満足しています。この文化発表会を通して、何事も努力をしたら必ず実るということを学びました。



- 全体合唱の時には緊張はなく、歌いやすかったです。「青春の一ページ」を歌っている時には、僕はすごいと思いました。理由は上手にハモれていて、みんなが歌うと、体育館中に響き渡っていたからです。改めて、1年生はまだまだできると思いました。

- 全体合唱では、昨日と同じくらいに声量や姿勢、音程などがしっかり取れていたんじゃないかなと思います。自分的には、「青春の一ページ」の方がいい声が出ていたかなと思います。歌い終わった後にちょっと感動しました。今までの練習の成果が出せて良かったです。
- 学年合唱では、終わってから先生方もほめてくれたように、めちゃくちゃよかったと思いました。声は、今までで一番おおきかったと思うし、きれいにハモることができていて、歌っている間も歌い終わってからも、すごく気持ちよかったです。「青春の一ページ」では、男子と女子のパートがうまくきれいにハモっていたから、途中で心が「じーん」としました。最初はうまく音がとれなかったけど、本番は自分なりにうまく歌うことができたと感じれたので、すごく楽しかったです。

*吹奏楽部

- 吹奏楽部の演奏では、いろいろな楽器が調和していて、素晴らしかった。また、聴いている人が楽しく、元気になるような演奏だった。吹奏楽部の人たちは、心をつなげて演奏をしていたので、素晴らしい



演奏になったのだと思った。

- 吹奏楽部の演奏を聴いて、とても感動した。全員の気持ちが一つになり、きれいなハーモニーを奏でていた。吹奏楽部は、夏休みも必死に練習していたし、努力をすれば必ずよいものができるということがわかった。

*合唱交流

- 2年生、3年生はレベルが全然違っていた。2年生は声が大きくて、ハモリの時もとてもきれいで、本当にすごいなと思った。3年生は、最初の曲はアカペラで歌っているのがとてもすごくて、指揮者が手をあげると全員がそろっていた。いつか自分たちもあんなふうに歌ってみたいと思った。
- 2、3年生の歌声は圧巻ですごかったです。2年生もとてもいい歌声だったけど、3年生はとてもすごかった。大きい声だし、歌声も男子と女子と息の合った歌声はとてもかっこよかったです。練習もまじめに取り組んだんだろうなと思いました。僕は先輩の歌を聞いて、こんな歌声になって、今の2、3年生を超える歌になれるように、2年生になっても頑張っていきたいと思いました。



*教科・部活動などの展示

- (わかば学級の作品) 大きなケーキがあっけおおいそうだった。紙をちぎってはった作品など、どれも個性的でよいと思った。
- (社会科の新聞) いろんな国の特徴を知った。みんなすごくて、自分のものよりもっともっといい作品が多かった。みんなの書き方を参考にし、これからの宿題も工夫して取り組んでいこうと思った。
- (保健美化委員会の作品) 保健美化委員会の展示作品は、災害についてのもので、ポスターにまとめられていたり、実物があつたよかったです。
- (美術科の作品) みんないろんな漢字をわかるように絵で表現できていたし、すごく上手だったので、なるほどなと感心しました。体育館で展示されていた2、3年生の作品を見て、参考にしようと思いました。
- (理科の作品) 自分の作品がありうれしかった。まわりの作品をみて「なるほど」と思ったり、「？」と疑問に思ったりして、とても面白かった。たくさん調べてみたいと思ったことがあつた。

